

いわしん便り
はまかぜ

2012年
冬号



いいひと、いいまち、いいくらし。

いわき信用組合

■編集＝「はまかぜ」編集委員会

■発行＝いわき信用組合

いわき市小名浜花畑町2-5
電話 0246-92-4111

で「地域づくり」に邁進

全国信用組合大会で表彰



これからも「地域復興の基盤づくり」を進めてまいります

震災時の活動で再認識

地域と「協働」「共生」「共感」

東日本大震災から二年度の冬を迎えました。季節の移ろいの中で、少しずつではあるものの「震災前」と「震災後」の変化が浮き彫りになってきました。

岩手・宮城両県の被災地との事情の違いは「原発事故」が原因であると

思われます。沈静化はみせているものの、収束への行程はまだまだ不透明です。確実なことは十年単位の長期間になるということ。

予期せぬ出来事によって発生した「地域固有の事情」をも織り込みながら「新たな地域づくり」

という復興を果たしていくかなくてはなりません。

こうした中、私ども（いわしん）は、協同組織金融機関・信用組合の設立の基本理念である相互扶助の精神を各種商品や金融サービスの中心に形として取り込み、更にはボランティア活動などを通して、より具体的な行動として地域の皆様にご提示して参りました。

震災以降の経過の中で

信用組合には大きく二つの特性があります。協同組織であること、地域に限定的事業であること、中小企業並びに生活者専門



絆ステーション

金融機関であることの三つです。

震災前にまとめられた金融審議会「協同組織金融機関のあり方に関するワーキンググループ」の中間論点整理報告書の中でも「このような協同組織金融機関の基本的性格や、その背景にある相互扶助という理念は地域金融及び中小企業金融の専門金融機関としての協同組織金融機関に求められる役割を最大限発揮するために生かされる必要がある。（中略）地域経済の疲弊や格差の問題が指摘される今日であるからこそより一層、あてはまるものと考えられる」と提言されています（この報告書は金融庁ホームページからご覧になることができます）。

地域密着で あればこそ

地域にのみ存在するか

「地域を見守る」防犯パトロール



そこから得られる情報、同じ地域で暮らすからこそ分かる生活者感覚を生かした独自の審査と提案。そこで働き、そこで生活する人がいるかぎり、地域の中の存在そのものが重要だという共通認識のもと、課題の解決を一緒に考えていく事業再生への対応。

信用組合があるからこそ、そこで暮らす人々が豊かな生活を送れる、という実感。地域と暮らしの将来を一緒に考える（「協働」）、地域の中でともに生きていく（「共生」）、互いに理解しあいながら（「共感」）。私ども（いわしん）は、こうした信用組合の理念を金融サービスという形にかえ、幅広い地域の皆様にご利用いただけるよう、更なる努力をして参ります。

相互扶助の精神

「しんくみの日」週間活動



▲清掃活動



▶FP相談会



◀献血活動

信用組合の3つの特性

- ・ 協同組織であること
- ・ 地域に限定的事業であること
- ・ 中小企業並びに生活者専門金融機関であること

毎年9月3日は「しんくみの日」

信用組合業界は、毎年九月三日を「く・み」の語呂合わせで「しんくみの日」としています。この日をはさんだ九月一日から七日までを「しんくみの日週間」と定めて、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

私も（いわしん）も九月一日（土）の清掃活動と、FP相談会の開催のほか、（いわしん）野球部による少年野球教室、献血活動などを行いました。

また、店舗ごとの催事や来店顧客へ粗品プレゼントを実施いたしました。

九月七日（金）には、いわきアリオスを会場に「いわしん絆寄席」を開催しました。

年金友の会会員と、仮設住宅で暮らす被災者の

全国大会で表彰

全国信用組合中央協会（全信中協）が主催する第四十九回全国信用組合大会が十月十九日に開かれ、（いわしん）の「しんくみの日週間」活動が表彰されました。

継続した清掃活動や、献血活動、FP相談会などが、「地域社会への顕著な貢献」と認められ、地元マスコミにも紹介されるなど信用組合のイメージアップにも寄与したことが評価されました。

方々を中心に千二百人余のご来場をいただきました。



受賞式の様子



2012 国際協同組合年 について



国連は1957年から「国際年」を設け、共通の重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて、呼びかけや、対策を行うよう取り組んでいます。

2012年は、国連において「国際協同組合年」となっております。これは、協同組合が果たす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証しで、特に貧困削減・仕事の創出・社会的統合に協同組合の果たす役割が注目されています。（「2012 国際協同組合公式ホームページ」より）



「2012 国際協同組合年」記念事業として開催した「いわしん絆寄席」

12月17日 好間支店 移設オープン！

もっと身近に！もっと便利に！



いわしん好間支店（下好間字沼田）は十二月十七日、中好間字下川原地内に移設オープンします。同支店は、建設から二十年が経過、さきの震災でも損傷を受けました。加えて、お客様のご利用数も増加していることなどから、建て替えを検討して参りました。建て替えに当たり、交通の便が良く、お客様が

利用しやすい立地を求めて、同支店から西に二百メートルほどの場所に移設を決定。現在、着々と工事を進めております。建物も広く、明るくなり、「もっと身近に！もっと便利に！」皆様にご利用いただけるよう努めて参ります。これからも、地域とともに歩む「好間支店」をどうぞよろしくお願います。

いわしん 好間支店

〒970-1152

いわき市好間町中好間字下川原 43-1 (移設先)

営業時間：平日▶午前8時45分～午後8時
土・日・祝▶午前9時～午後5時
(年末年始は休み)

お問い合わせ：0246-36-5641



いわしん 金融商品のご案内

お申込からご融資実行までスピーディーに対応可能な事業者向けローン

いわしん ビジネスローン みんなの力

お急ぎの資金繰りに
ご利用いただけます

まず借入ができるのか結果を知りたい…

仮審査申込が可能です

最短で翌営業日には結果回答が可能です

ご審査は事業主様個人の信用も加味しておこないます。

提携保証会社と協議のうえ、総合的に審査いたします。

法人でもお申し込みいただけます
同一業種の営業歴2年以上、直近の「確定申告書」の提出が条件
▶融資可能額50万円～500万円

ご審査の受付ができる要件

年齢	申込時満25歳以上で完済時年齢75歳以下
業歴	同一業種2年以上
資金使途	運転・設備資金等 事業性資金
連帯保証人	原則不要
融資金額	50万円～300万円(白色申告の場合は200万円以下)
融資期間	5年以内の証書貸付(元金均等返済)
融資利率	8%(固定金利) 保証料(3%)は契約時に一括でお支払いいただきます。
必要書類	免許証などの本人確認資料 直近の「確定申告書」1期分と納税を証明できる領収証書など ※「確定申告」をされていない場合はお申込できません。
保証会社	全国しんくみ保証(株) <再保証会社(株)オリエントコーポレーション>



みんなの、その頑張りを応援したい。

2012国際協同組合年 記念商品



地域復興応援商品『YELL(エール)』



地域の皆様の応援団!!
地域の皆様のその頑張りを応援したい。

安全安心な消費生活…食料

環境・再生可能エネルギー

地域に密着した医療・福祉

地域経済を活気づけ持続可能な社会を実現するため、「食料」「環境・エネルギー」「介護・医療」の分野で、いわしんと共に新たな社会のあり方を模索し、取り組まれる事業者の皆様を応援します。

ご融資対象者	地域資源の活用に取り組む事業者 医療・介護事業に従事する事業者 環境事業分野に取り組む事業者
資金使途	運転・設備資金
融資金額	3億円以内
融資形式	手形貸付・証書貸付
融資期間	運転資金 7年以内(但し、制度資金併用の場合は適用期間内) 設備資金20年以内(但し、融資物件の耐用年数を考慮)
返済方法	一括または分割返済
融資利率	①返済期間 1年以内……………1.20%以内(固定) ②返済期間 1年超10年以内迄…1.5%以内(固定) 11年以降は、長プラ連動金利とする(スプレッドなし)
担保	必要により担保徴求
保証人	法人…1名以上(代表者連帯保証は必須) 個人事業者…後継者または配偶者
取扱期間	平成24年9月3日から平成25年3月31日まで

※2012年は、国連が定めた国際年です。

佐藤直美の
マーケティング講座
顧客イメージ



中小企業診断士
佐藤 直美

昭和36年神奈川県生まれ。FD K入社。平成6年、中小企業診断士登録。同15年、同社退職後、経営コンサルティング会社インキュープを設立。同20年6月より当組合顧問に就任。現在、当組合が実施する月2回の経営相談コーディネーターを担当

前回は、「自店のウリや特徴をわかりやすい形に表現すること」についてお話ししました。ソーシャルメディアを通じて行われるコミュニケーションで、共有する価値のある情報を共有されやすい形で発信していくことが重要だからですね。

みなさんは自店のお客様のことをどのくらい考えていますか？ 毎日考えていますか？ 一日何時間考えていますか？ おそらく多くの企業では、お客様のことを考える時間をきちんと作っていることはないと思います。

せつかくお客様を集めても：

なぜお客様のことを考える必要があるのでしょうか？ せつかく自店のウリや特徴をわかりやすく発信しても、お客様のニーズとマッチしなければ不幸が起きます。

例えば：、テレビでCMを流したり、新聞広告を出したりすれば、たくさんのお客様を集めることは簡単です。ところが、さまざまなお客様が来ると、その中には自店のウリや特徴にマッチしない方もいることでしょう。そういう方は不満足を持ち帰ります。サービスを簡略化してローコストで商品を提供している店に来て、「あそこの店は接客が最悪だ」というような不満足を感じてしまうのです。

より具体的にイメージする

今の時代、この不満足はツイッターやフェイスブックなど、ソーシャルメディアを通じて瞬く間に多くの人に伝播してしまいかもしれないのです。そうならないためには、お客様のことをよく考える必要があります。

マーケティングの世界では、顧客をセグメント化（年齢、職業、居住地など特定の条件によってグループ化）して、自店にふさわしいお客様を絞り込んでいくようなことをします。しかし、今の時代はもっと具体的にお客様をイメージする必要があります。なんとという名前です。どこへ勤めていて、趣味は何で、家族構成は：など、詳細なプロフィールをイメージします。

さらに、そのお客様のことを深く掘り下げて、その人は何を聞いているのか？ その人は何を聞いているのか？ その人は何を考え感じているのか？ その人の本音と建前はどんなものか？などを具体的にイメージします。

最終的に具体的な購買活動に結び付けていくためには、その人が悩んでいることは何か？ その人が望んでいることは何か？などをイメージする必要があります。

これらはすべてお客様のことをよく考え、自店の商品やサービスを通じて「共感」を得ていただくために必要な項目となります。

震災後、消費には理由やストーリーが必要になったと言われます。単に安かったり、デザインが良かったりというだけでは、お客様に選んでもらえないことも多いのです。

お客様に選んでいただくために必要な「共感」を得る方法について、次回から少し詳しくお話ししていきます。と思っています。

新・特派員だより

おいしい味づくりで楽しい街づくり



今年オープンした「まる兵衛」

株式会社マルベリイ

代表取締役会長 桑名督雄
代表取締役社長 桑名基勝
●いわき市平字堂ノ前 13
★電話 = 0246 - 24 - 1131

昭和36年にアイスクリーム卸業として創業。少子化の進展とともに、次の事業の柱はなにかと検討した結果、子ども達に人気の高いハンバーガー店を出店。

その後、「びっくりドンキー」を開業し、現在5店舗を展開。また、自社ブランド店として、平成17年に「マンマ・マリィ」（郷ヶ丘店・泉店）を、今年「熟成とんかつまる兵衛」（郷ヶ丘店・内郷店）をオープンしま

した。「おいしい味づくりで楽しい街づくり」をテーマに、大きな意味での食産業づくりに取り組んでおります。

創業50周年を機に、食の役割を大切に、顧客満足の追求を通して社会に貢献する100年企業づくりでエクセレント・カンパニーを目指しております。

これからも様々な形で楽しませてくれることでしょう。
(本庁前支店・菅原昌司特派員)

さわやか窓

“信頼”されるお付き合いを

毎年9月3日は信用組合の日「しんく(9)み(3)の日」となっております。これに合わせて9月には様々なイベントを開催いたしました。ファイナンシャルプランナー有資格者による金融相談会や、献血ボランティア、町をきれいにする清掃活動など。

これらの活動中、地域の皆様から「いわしんさん、ご苦労様。頑張ってるね」と励ましのお声を頂きました。さらにお客様が手掛けた作品をお借りし、店内にコーナーを設け展示させて頂きました。写真、絵画、ねんど細工、郷土細工のつるし雛や、お子様達の元気いっぱいのクレヨン画などなど。

おかげさまでご来店のお客様方大変好評でした。きっと作品をご覧になったお客様は、心に潤いを持ってお帰りになられたことと思います。「この作品はプロ顔負けね。買って帰りたいわ」とおっしゃる方もいらっしゃいました。

ご自身の大切な作品であるにもかかわらず、快くお貸し下さったお客様には感謝の気持ちでいっぱいです。これも日頃のお付き合いがあるからこそ、私どもを信頼して、預けてくださったのでしょう。

「信頼」というものは、すぐに得られるものではなく、時間をかけてじっくりと結ばれるものであると思っております。この「信頼」を失うことのないよう、今まで築いてきたお付き合いを大切に、さらに今後築いていく新しいお付き合いを楽しみにしながら、地域の金融機関として信頼できる、そして気兼ねなく立ち寄ってもらえる、そんな場所になれるよう、これからも窓口立ち続けていきたいと思っております。
(平支店・渡辺由美)

編集後記

映画「スターウォーズ」を生み出した制作会社ルーカスフィルムが米ウォルト・ディズニー社に買収された。二〇一五年には「スターウォーズ」の次回作も公開される計画という。

第一作が制作されたのが一九七七（昭和五十二）年だから三十五年前。第七作にあたる新作の公開が三年後。映画

の内容同様になんとも大きな話だと思ふ。

第一作は物語の中では「エピソード4」にあたり、シリーズ二作目が「エピソード5」（邦題は「帝国の逆襲」）になる。

その中で主人公・ルークにジェダイ師・ヨーダが言う言葉：『学んだことを思い出せ。それがお前を守ってくれる。』。長く支持される映画には名言が多い。

古来、日本人の魂のふるさとである世界遺産、熊野古道・熊野本宮大社等を訪ねる豪華客船ふじ丸による「南紀クルーズ四日間の旅」は、また、素敵な出会いと感動の旅であった。

黒潮の真つ只中を航行するふじ丸周辺の群青色の海域は、初秋の強い陽射しを浴びて、寶石を散りばめたようにキラキラと輝いていた。沖行く船が遠望され、遙かに房総半島や伊豆七島を眺めながら、ふじ丸は一路南紀新宮港を目指した。

数十年来、大海原の夜明けの美しさに魅せられてきた私は、今回、外洋での日の出撮影の機会を得て、九月九日、十日、十一日の三日間、早暁四時半にはふじ丸六階のスポーツデッキで愛用のカメラを構えた。十日、

随想

南紀クルーズの旅で

いわき信用組合非常勤理事 比佐 臣一

黎明のスポーツデッキ、太平洋の潮風が心地よく頬をなで、刻一刻微妙に変化する東の空に注目していた。気がつくと、私のすぐ側に三人の女性が立っていた。姉妹らしい三人のうちの一人が、赤みを増していく空を眺めながら、「茜（あかね）色は夕

た万葉集の額田王の名歌「あかねさす柴野行き標野（しめの）行き 野守は見ずや君が袖振る」について語ることとなり、一挙に四人の会話が弾んだ。話してみると、郡山のお住まいで、福島県商工信用組合の取引先の仲良し三姉妹であること

稀有なる幸運に浴し、ふじ丸の名を刻印した立派な置き時計を頂戴した」等でまたまた偶然の出逢いが重なり、そのご縁で、記念写真を共にし、甲板で懐かしい「里の秋」「おぼろ月夜」「みかんの花咲く丘」を合唱し、余裕ある日程の船旅ならではの団欒のひとつを過ごしたのであった。

十一日午後二時四十六分、ふじ丸の甲板上には、いわき信用組合鈴木丈夫専務理事、大津波の被災者である鈴木利明ご夫婦、四家イサ子さん、鈴木節子さんの五人が、ふるさとのシンボル・塩屋瑠灯台の方角に向かって黙禱し、敬虔な祈りを捧げる姿があった。福島県人は、巨大地震・大津波・原発事故と風評被害という人類史上かつ

て経験したことのない大惨事に遭遇したが、その痛みに耐えかね、笑顔と歌声を忘れていた人物が、この船旅で、大自然の雄大さと温かい人の情けと心遣いに接して、本来の自分を取り戻し、「元氣瀧刺（祭り）」を熱唱し、自己再生の契機となったとしみじみ語ってくれたこともこの旅の大きな収穫であった。